

# 豆田町並み通信

第44号

発行者  
豆田町伝  
建保存会  
24年9月

「被災者を励まし

早期復興復旧の願いを込めて

みんなで灯そう光の輪

千年あかり  
開催を決定

八月二十日(月)千年あかり実行委員会が開催され、七月の洪水で花月川の河川敷が大被害に遭うなかで、本年の千年あかりをどうするか協議を行いました。

協議の結果、被災者激励、元氣な日田をアピールする為に、まつりを実施する事にしました。

なお、河川敷の竹灯籠設置場所は、関係機関と協議し、復旧可能な場所限定して設置する事としました。



本年度の開催を決定した実行委員会

竹伐採作業を開始!

九月九日(日)、本年度一回目の竹伐採作業が、豆田地区の住民やサッポロ・九州電力・日田警察署・商工会議所青年部などの協力団体の七十名が参加して行なわれました。

作業では、二トントラック十二台分の竹を伐採し、作業場となる旧産業工芸試験場(石井町)に搬入しました。実行委員会では、二十三日に二回目の伐採作業を行う事にしており、多くの参加を呼びかけています。

事務局・不二水道(園田) ☎22-6265



伐採作業と切り出された竹

復興をアピール  
第三十三回天領まつり

八月二十七日(月)、市役所において本年度の天領まつりについて、豆田地区自治会への説明会が開催されました。

説明会では、今年のまつりは「天領時代の復興」、今ひとつは「水害からの復興」の二つの「復興」を祈念する祭りとしたとの事でした。

具体的には天領時代にタイムスリップするため、祭り参加者や地域の人に時代衣装で雰囲気を作ってもらおう。「元氣な日田」をアピールするため「ブースを設置・スタンプリーを実施するなどの内容でした。

又地元の元氣を示すため、メインイベントの「郡代着任行列」に地元の皆さんが多数参加される様、要請がありました。



天領まつりに関する豆田地区自治会への説明会に参加した自治会長の皆さん

洪水対策で市長に要望!

八月二十三日(木)、豆田地区振興協議会(会長・橋本成人城内新町自治会長)の十四自治会長は、七月の大洪水の被害に対し、今後の防災対策について原田市長に要望書を提出しました。

原田市長は「丸山町側の浸水の要因になった夕田橋の架け替え工事は早急に検討したい。雨水幹線水量減少のため夜明ダム水門の適宜な開門を関係機関にお願いしたい」と回答しました。

その後振興協議会側から、今回の水害に対し、避難場所の指定、避難誘導に不手際があった事が指摘され、市より「自治会の皆さんと協議を行い、実状に合った対策をとる様手直しをした」と回答がありました。



要望書に目を通す原田市長と振興協議会の皆さん

## 祇園祭りに廣瀬知事が激励!

七月二十二日(日)、一新橋上の豆田山鉾集合に合わせて、大洪水で被害に遭われた被災者への激励と祇園祭りの応援を兼ねて、廣瀬勝貞知事が来訪されました。

廣瀬知事は「祇園関係者のなかにも洪水の被災者がいると聞いています。被害にもめげず、この様に盛大に祇園祭りが行われている事は、地域の方に大きな励ましになると思います」と挨拶をされました。

その後、廣瀬知事は同行の原田日田市長や青木西部振興局長と共に三基の山鉾の棒鼻に乗り、一新橋から御幸橋を一周し沿道の観客に激励のエールを送っていました。



挨拶を行う廣瀬知事、後方は原田市長

## 永山城の石垣の歴史を追って!

八月二十五日(土)、日田市教育委員会が別府大学の協力を得て行っている永山城の発掘調査の現地説明会が、地元住民や考古学ファン八十名が参加して行なわれました。

月隈山北側のかつて『肥後殿堀』と呼ばれたお堀の石垣について説明があり、発掘を指導した上野淳也先生によれば、江戸時代には二つの時期に石垣が築造され、その時期の一つ目は慶長年間の小川光氏時代、二つめは寛文年間に肥後藩主細川綱利(1655~1696年日田を支配)時代だと想定されると言いつ事です。

今回見つけた石垣は川原石が使用され、花月川や筑後川から運び込まれたもので、川原石を用いた築城技法は全国的にも珍しいとの事でした。



石垣の説明に聞き入る参加者

## えん魔様まつりに多数の参拝者が!

恒例の「えん魔様まつり」が八月十六日(木)丸の内の大超寺で行なわれました。この日はお盆の帰省客や地域の方が多数参拝し、本堂での副住職の「地獄・極楽絵図」の説明に、子供達は不思議そうに聞き入っていました。

その後、住職が打ち鳴らす鉦に合わせて「百万偏大数珠」の供養行事が行われ、大人から子供まで数珠の大きさが自分の前に来る度に頭を下げ、先祖供養と無病息災を祈っていました。



住職の鉦に合わせて、数珠玉を上下させる参拝者



大超寺に代々伝わる絵図が一年ぶりにご開帳

## 修理・修景工事始まる!

平成二十四年度の民間分の新規修理・修景事業三件について、七月より順次工事が始まっています。

一件は伝建事業の長福寺の園舎で、あと二件は街なみ環境整備事業による上町の梅山家と田町の小野家になっています。



①



②



③

今年度新規事業  
①は長福寺園舎、  
②は梅山家、  
③は小野家

尚、日田市が施主となる旧古賀医院診療所棟の工事見学会を実施するので、多数の参加をと呼びかけています。

## 【お知らせ】

旧古賀医院診療所棟

曳き移転工事現場見学会

九月二十五日(火曜)

一回目・午前十時

二回目・午後二時